

戸田康之さん『カエル』（4月11日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。
今日のお話は、カエルについてです。

私は今、ろう学校の先生をしていて、幼稚部の3歳から5歳の子どもたちと学校生活を送っています。

幼稚部の外には庭があって、池もあります。5年くらい前に私が作ったんですが、今もあるんです。池にはいろいろな生き物がいます。メダカもいますし、トンボの幼虫のヤゴ、アメンボ、オタマジャクシも以前別の場所から持ってきて池に放したことがありますし、とにかくいろいろな生き物がいて、子どもたちも大喜びで毎日観察しています。

先日おもしろいことがあったのですが、2月末か3月のあたりに、大きくて黒っぽいカエル…たぶんヒキガエルだと思うのですが、2匹つがいで1匹の背中にもう1匹が乗っていたんです。子どもたちはそれを見つけて、「オスとメスだ！カエルの交尾だ！！」と大騒ぎです。つがいのカエルは産卵中でした。子どもたちは今まで見たことがなかったので興味津々です。カエルの交尾を見たことがなかったんです。トンボは見たことがありましたがカエルは初めて。子どもたちも「交尾だよね！」と分かっていた。なので子どもたちに静かに見るように言い聞かせ、一緒にその様子を観察していました。

そして次の日。もうびっくり。池の中が卵だらけだったんです。私の想像では小さな卵が1か所にたくさん集まっているような感じだったのですが、そうではありませんでした。ヒキガエルの卵、カエルにもいろいろな種類がありますが、ヒキガエルの場合は、ホースみたいに長〜い管になっていました。ひっぱり上げてみると管はベタベタしていて、その中に黒い卵がもう無数に入っていました。

子どもたちもわーっと集まって来て卵を入れ物に入れていました。コップに入れるとタピオカみたいでちょっと気持ち悪かったのですが、子どもたちは大喜びでとっていました。子どもたちは、今まで卵をとったことがありませんでした。オタマジャクシはとったことがありますが、カエルの卵は初めてです。実は私も初めてでした。そのぬるぬるした卵をとったあと、教室に持ち帰りました。池に残っていた卵もそのままにしておきました。

そして先日のことですが、管に入っていた黒い卵がポコポコっと出てきたんです。動かない卵は死んでしまっていたのか分かりませんが、数日経つと黒い卵からしっぽが出てきました。この時もまだ動いていません。そこからまた数日して池のあちこちで少しずつ動き出し、今はもううじゃうじゃしています。

今は春休みで子どもたちは学校に来ないので、オタマジャクシが動き回る様子を見られないのは残念ですが、新学期になったらまた子どもたちが大騒ぎでオタマジャクシをとるんだろうなと思います。そしてカエルになるのが楽しみです。